

# 公募技術の実道検証の流れ

別紙1

## 【公募分野】

テーマⅠ	テーマⅡ	テーマⅢ
<p>○道路側での逆走車両への注意喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・センサーとLED表示板・音・光等を用いた注意喚起 等</li> </ul>  <p>○道路上の物理的・視覚的対策</p>	<p>○道路側で逆走を発見し、その情報を収集する技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路側カメラ、3Dレーザーセンサー等の路側機器・路側センサーの活用</li> <li>・道路管制センターとの連動 等</li> </ul> 	<p>○車載機器による逆走車両への注意喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カーナビにより、ドライバーに対し警告 等</li> </ul>  <p>○自動車側で逆走を発見し、その情報を収集する技術</p>

## 【応募状況及び評価結果】

技術公募 (2016年11月-2017年3月)	テーマⅠ	テーマⅡ	テーマⅢ	計
	応募提案数 (企業数)	56 (43)	36 (31)	8 (8)

※同一企業が複数の提案を行っている場合がある

公募技術の選定結果公表 (2017年3月23日)	テーマⅠ	テーマⅡ	テーマⅢ	計
	選定提案数 (企業数)	14 (13)	9 (8)	5 (5)

<選定の考え方>

・走行の安全性等基本要件への適合性、技術の有効性、開発計画等提案内容の具体性等を考慮し、実道検証技術を選定

## 実道検証

実道での検証結果公表 (2018年12月18日)	テーマⅠ	テーマⅡ	テーマⅢ	計
	現地展開提案数 (企業数)	11 (11)	4 (4)	3 (3)

<評価の考え方>

・基本要件、公募技術に期待する項目に対する達成度や今後の対策実施に向けた発展性等を考慮し、現地展開技術を選定

現地展開(逆走発生状況、技術の有効性・適用性を考慮(2020年度まで))